

国際線旅客ターミナルビル（増改築後）概要

所在地	沖縄県石垣市字白保1960-104-2	
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造	
階数	地上2階	
延床面積	4,597.47㎡	
施設規模	対象機材	提供座席数270席程度の中型機（B767、A330等）
	ピーク時便数（片側）	1便
	ピーク時旅客数（片側）	230人（搭乗率85%相当）
主要設備	旅客搭乗橋、フライトインフォメーション設備、手荷物搬送設備、非常用発電設備	
設計	日建・朝吹新石垣空港国際線旅客施設増改築設計共同体	
施工	(株)大米建設・松尾建設(株)沖縄支店特定建設工事共同企業体	

新石垣（南ぬ島 石垣）空港概要

種別	地方管理空港	
設置管理者	沖縄県	
運用時間	13時間（午前8時から午後9時まで）	
滑走路	2,000m × 45m	
就航路線	国内線	東京（羽田）、東京（成田）、名古屋（中部）、大阪（関西）、福岡、沖縄（那覇）、宮古、与那国
	国際線	台北（桃園）、香港
就航航空会社	国内線	日本航空（JAL）、日本トランスオーシャン航空（JTA）、琉球エアコミューター（RAC）、全日本空輸（ANA）、ソラシドエア（SNJ）、Peach Aviation（APJ）
	国際線	チャイナエアライン（CAL）、香港エクスプレス航空（HKE）

※就航路線及び就航航空会社は定期運航便のみ（2022年3月1日時点）

会社概要

会社名	石垣空港ターミナル株式会社
代表者	代表取締役社長 大濱 達也
設立年月日	2009年2月13日
資本金	16億8,000万円
所在地	〒907-0242 沖縄県石垣市字白保1960-104-1
事業内容	旅客ターミナル施設並びに貨物ターミナル施設の管理運営



新石垣空港国際線旅客施設増改築工事

竣工

2022年3月19日

ごあいさつ



石垣空港ターミナル株式会社
代表取締役社長
大濱 達也

かねてより計画、建設を進めてまいりました新国際線旅客ターミナルビルは、このほどようやく竣工の日を迎えることとなりました。

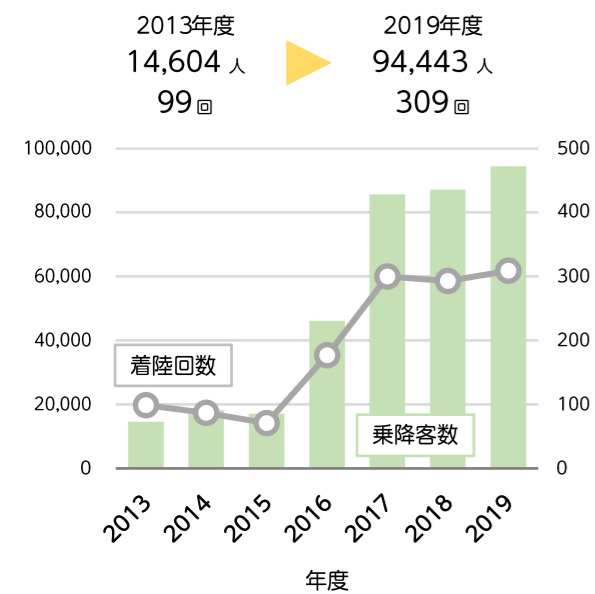
新国際線旅客ターミナルビルは面積が従来の施設に比べ約3.5倍となるほか、国内線旅客ターミナルビルとの一体化、旅客搭乗橋の新設など、利便性や快適性が著しく向上しております。これまでは手狭な施設で、ご利用される皆様には大変なご不便をおかけしておりましたが、海外からのお客様を石垣島へお迎えするに相応しい施設が完成いたしました。この新国際線旅客ターミナルビルは、コロナ収束後における地域経済のV字回復に必ず貢献する施設になるものと自負しております。

最後に、当施設の整備にあたりましては、多くの皆様から多大なるご協力を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。八重山地域の玄関口を預かる空港ターミナルビル事業者として、これからも皆様のご期待にお応えできますよう、役職員一丸となって社業に取り組んでまいります。

竣工までの歩み

2013年	3月	新石垣空港開港、国際線旅客ターミナルビル供用開始
	6月	三者（沖縄県、石垣市及び当社）による増改築検討開始
	12月	増改築基本方針及び事業負担スキームに関する三者基本合意
2014年	5月	基本設計着手（2015年5月完了）
2015年	9月	増改築案及び事業負担スキームに関する三者合意
2016年	3月	実施設計着手（2017年1月完了）
2017年	6月	建設工事1回目入札（その後2018年10月の3回目入札まで不調）
2020年	6月	4回目入札を経て建設工事請負業者決定
	8月	起工式
2022年	3月	新国際線旅客ターミナルビル竣工

国際線の乗降客数及び着陸回数



出典：暦年・年度別空港管理状況調査（国土交通省航空局）



座席数100席以下の航空機の運航を想定して建てられた増改築前の国際線旅客ターミナルビル 1 2 3
搭乗手続きや保安検査の待ち並びの状況（屋外通路付近） 4

新国際線旅客ターミナルビルフロアマップ

設計コンセプト

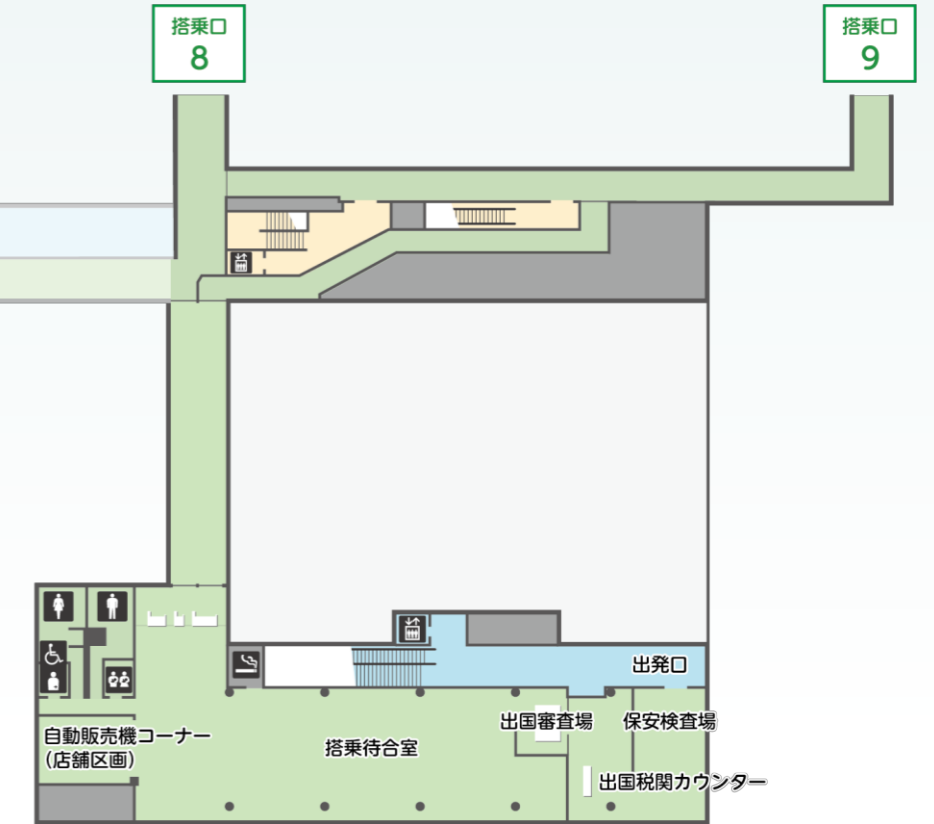
八重山諸島の自然・文化を感じ、強く印象付けるターミナルビル

新石垣空港は八重山諸島の空の玄関口であるため、海外から訪れるお客様のお迎えやお送り施設としての施設整備が重要です。そこで、地域との調和や既存施設との調和を図るとともに、十分な施設規模を確保したターミナルビルを目指しました。

2階



八重山の気候特性でも安全・快適に搭乗・降機ができる旅客搭乗橋設備 5
白保海岸を望む搭乗待合室 6



1階

中型機の運航を想定した広々としたチェックインカウンター 7

